

初めてでも簡単 つくる楽しさ FileMaker

FileMaker Proで作成したファイルを
iPadやiPhoneで活用する方法

ひとりでも、チームでも、カスタム App を
iPadやiPhoneで、今すぐビジネス活用

iPad 23:00 95%

顧客住所録 (WindowsPC) ▾

顧客住所録 フォーム リスト

顧客名	ジェネラ銀行 東京支店	
担当者名	武井 健太	
郵便番号	107-9654	
住所1	大阪府港区赤坂1-12	
住所2	村井ビル4F	
TEL	13-7727-1141	
FAX	13-7727-2322	作成日 2017/02/13
emai	kenta@suuetuuy.com	作成時間 16:30:00

< ○ > + - ↕

データベース作成のテーマ：顧客住所録

はじめに

このガイドブック「FileMaker Proで作成したファイルをiPadやiPhoneで活用する方法」をご覧ください。できれば、コンピュータのFileMaker Proで作ったデータベースファイルを、iPadやiPhoneのFileMaker Goで利用できるようになります。題材となる「顧客住所録」をガイドブックの手順に従って一度作成すれば、FileMaker Goでデータベースファイルを使う方法を修得することができます。ガイドブックには、修得用の「顧客住所録」のサンプルデータベースも添付しています。

このガイドブックでは、iPadのFileMaker Goを使って解説します。iPhoneのFileMaker Goでも基本は同様です。

このガイドブックと添付のデータベースは、ファイルメーカー社Webサイト (www.filemaker.com/jp) からダウンロードして実際にご利用いただけます。FileMaker Proをお持ちでない方は、同Webサイトから評価版をダウンロードしてご利用いただけます。iOSデバイス用のFileMaker Go 16は、App Storeから無料でダウンロードできます。データベースは、そのまま活用されても、カスタマイズしてご利用いただいてもかまいません。なお、ファイルメーカー社では、データベースのユーザ登録、およびサポートはいたしません。予めご了承ください。

※本冊子をカラー・マッチングの設定が可能なモノクロプリンタで印刷する場合、グレースケールよりも白黒に設定することにより、カラー部分をより鮮明にモノクロ印刷できます。また、本冊子のスクリーンショットは、FileMaker Pro 16で作成されているため、FileMaker Pro 16 Advancedでお試しいただく場合、若干メニューの表示が異なる場合がありますが、本冊子を充分にご利用いただくことができます。

目次

はじめのまえに	3
iPad用のフォームレイアウトを作る	4
iPad用のリストレイアウトを作る	8
iPhone用のレイアウトを作る	9
アニメーション効果をつけてレイアウトを切り替える	10
スクリプトを実行するボタンを作る	12
ファイルにカスタム Appのアイコンを設定する	13
iPadでFileMaker Goを使えるようにする	15
データベースファイルをiPadで開く方法 (1) - ファイルをiPadにコピーする	18
データベースファイルをiPadで開く方法 (2) - ネットワーク経由で開く	20
iPadでレコードのブラウズ、編集、追加、削除をする	22
ボタンの動作とアニメーション効果を確かめる	26
iPadでレコードを検索する	27
iPadでレコードをソートする	30
次のステップ	32

はじめるまえに

このガイドブック「FileMaker Proで作成したファイルをiPadやiPhoneで活用する方法」では、「初めてでも簡単。つくる楽しさFileMaker」のStep 4で作成した「顧客住所録」のデータベースファイルを、iPadのFileMaker Goで使う方法を解説します。コンピュータでデータベースファイルにiOSデバイス用のレイアウトを作り、このファイルをデバイスで開いて使います。

以下は、iPadで「顧客住所録」を開いたところです。「顧客住所録」はStep 4で作成したものです。まだ作成していない方は、Step 4のガイドブックを見ながらぜひ作ってみてください。このガイドブックの内容だけを修得したい方は、このガイドブックのフォルダに含まれるデータベース「顧客住所録」をご利用ください。このデータベースファイルに新たにiPad用のレイアウトを作成し、そのレイアウトを使ってiPadで開いたのが、以下の画面です。

FileMaker Proをお持ちでない方は、ファイルメーカー社Webサイト (www.filemaker.com/jp) から評価版をダウンロードしてご利用いただけます。なお、このガイドブックではWindows版のソフトウェアを使って説明していますが、OSの違いによる名称や手順の多少の違い以外は、Mac版においても、使用している当社ソフトウェアの名称、操作、手順に変わりありません。iOSデバイス用のFileMaker Go 16は、App Storeから無料でダウンロードできます。

顧客住所録

iPad 23:00 95%

顧客住所録 (WindowsPC) 🔍

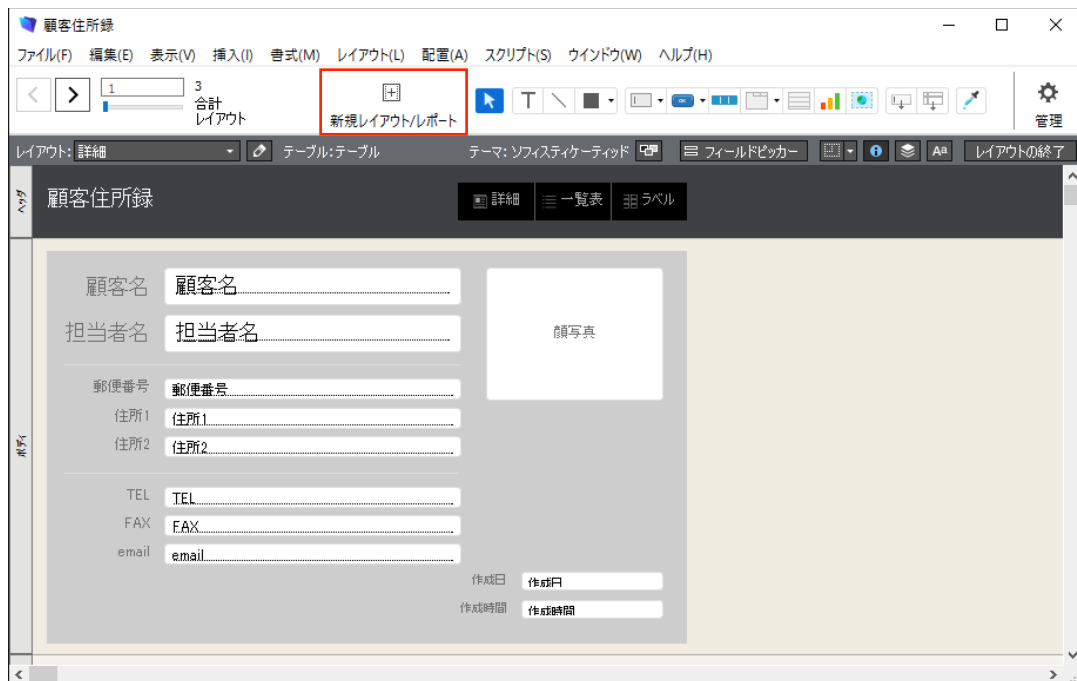
顧客住所録 フォーム リスト

顧客名	ジェネラ銀行 東京支店	
担当者名	武井 健太	
郵便番号	107-9654	
住所1	大阪府港区赤坂1-12	
住所2	村井ビル 4F	
TEL	13-7727-1141	
FAX	13-7727-2322	作成日 2017/02/13
email	kenta@suuetuuy.com	作成時間 16:30:00

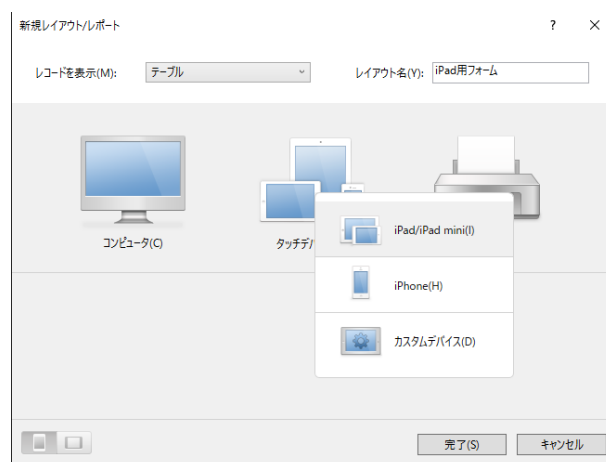
⏪ ⏴ ⏵ ⏩ + - 📱

iPad用のフォームレイアウトを作る

まず、iPadで操作するのに適したレイアウトを作ります。iPadは指先で操作するので、コンピュータで使うレイアウトよりもオブジェクトを大きくしたほうが使いやすくなります。また、画面をスクロールする必要がないように、デバイスの画面に合わせたレイアウトにするとよいでしょう。コンピュータのFileMaker Proで「顧客住所録」のデータベースファイルを開き、レイアウトモードにします。“新規レイアウト/レポート”をクリックします。

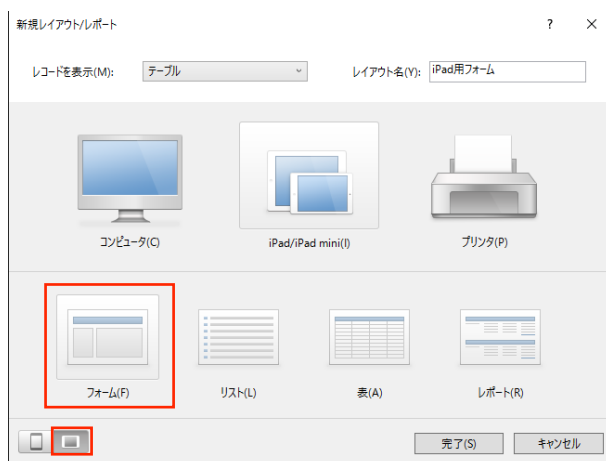


“レイアウト名”に“iPad用フォーム”と入力します。“タッチデバイス”をクリックし、メニューが表示されたら“iPad/iPad mini”をクリックして選択します。

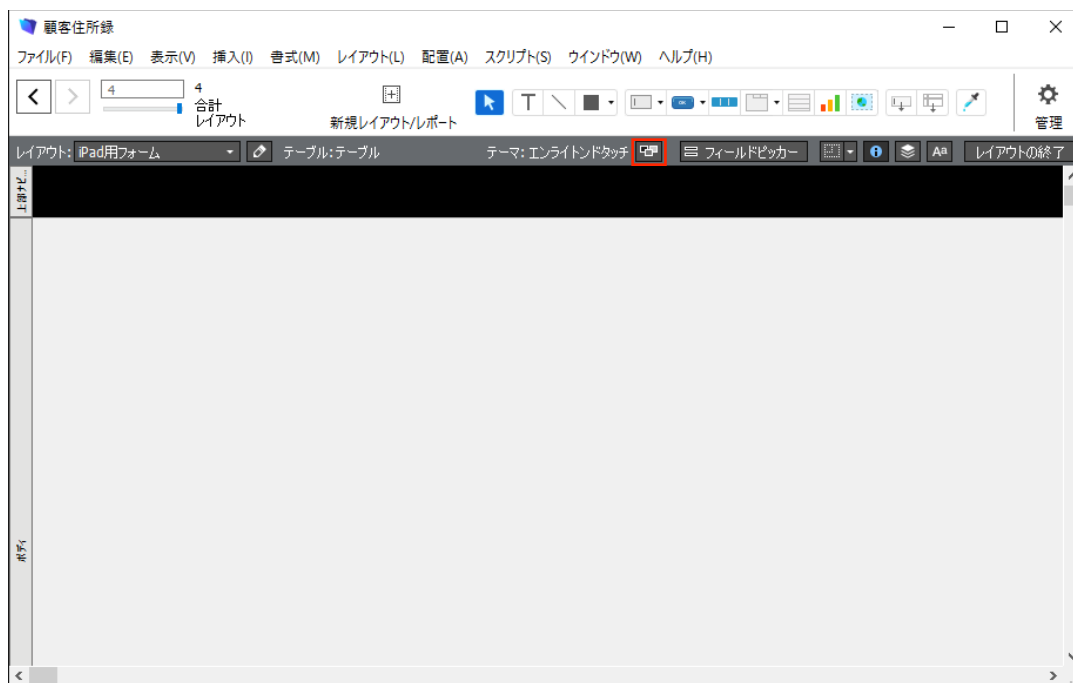


FileMaker Proで作成したファイルをiPadやiPhoneで活用する方法

“フォーム”をクリックします。ここでは、iPadを横向きに持って使うレイアウトを作りたいので、横向きのボタンをクリックして選択します。“完了”ボタンをクリックします。

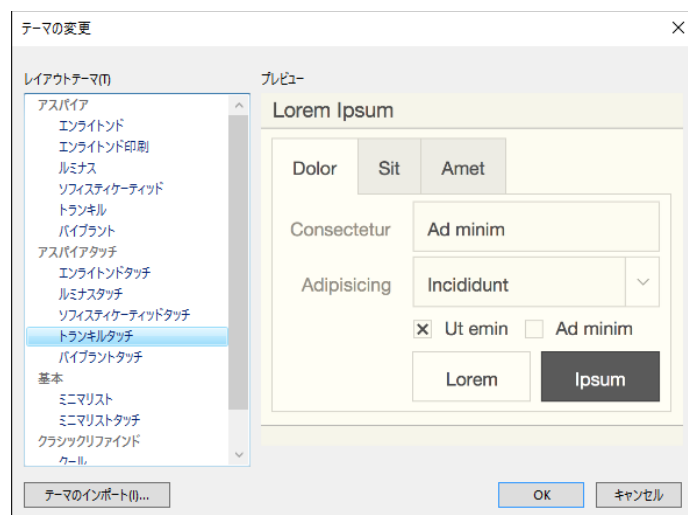


iPadの横向きの画面のサイズに合わせた空白のレイアウトができました。レイアウトテーマを選択するボタンをクリックします。

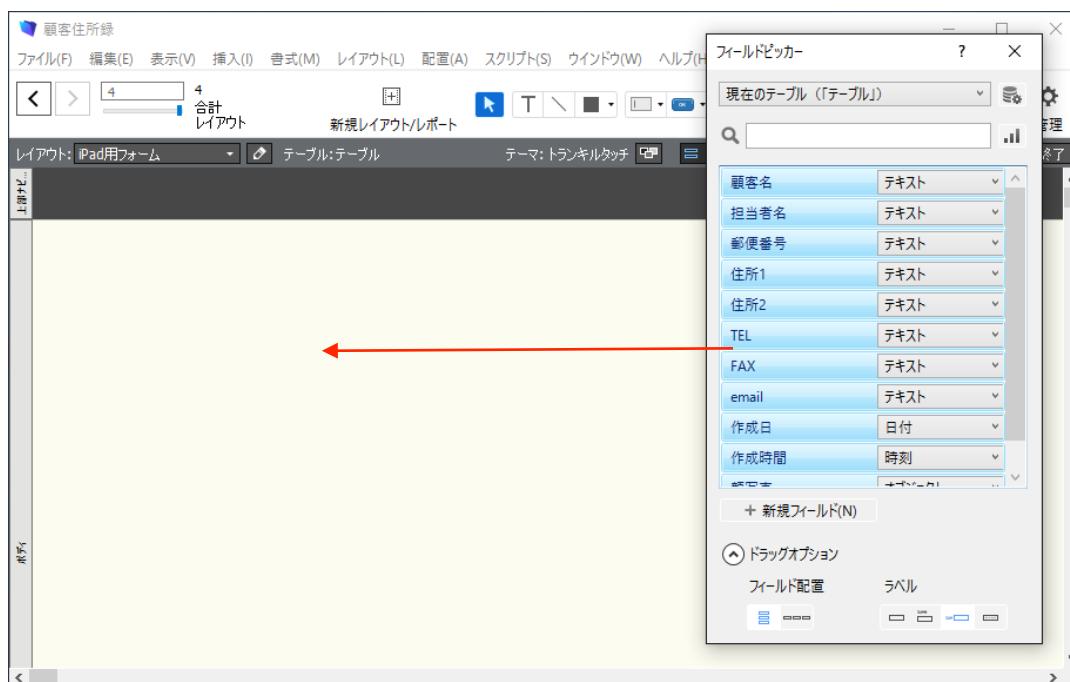


FileMaker Proで作成したファイルをiPadやiPhoneで活用する方法

レイアウトテーマのうち、名前の末尾に“タッチ”とついているものが、iOSデバイスで使うのに適したテーマです。ここでは“トランキルタッチ”をクリックして選択し、“OK”ボタンをクリックします。

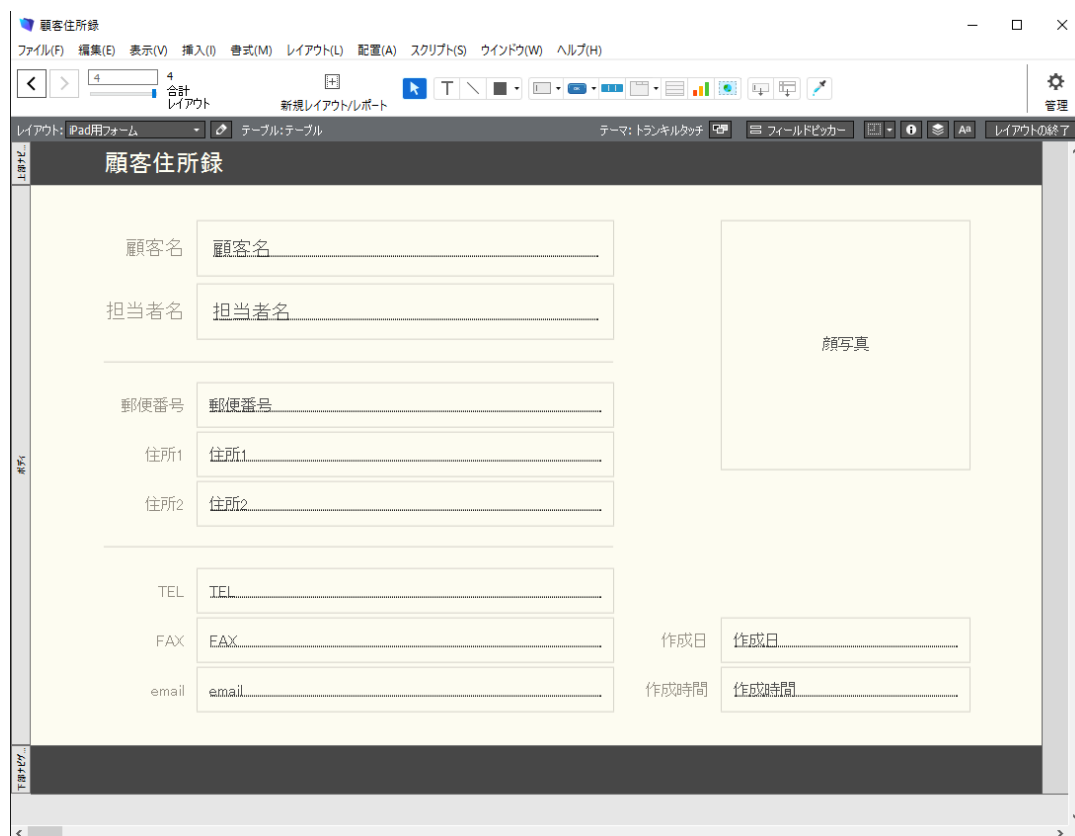


“フィールドピッカー”で配置するフィールドを選択し、レイアウト上にドラッグ&ドロップします。



FileMaker Proで作成したファイルをiPadやiPhoneで活用する方法

フィールドやラベルの配置を整えます。必要に応じてフィールドのサイズや文字の大きさを変えたり、罫線を引いたり、ヘッダにタイトルを追加したりしてレイアウトを整えます。



Tips

コンピュータとiPadにインストールされているフォントが異なるため、コンピュータ上では正しく表示されている文字が、iPadで表示すると切れてしまったりすることがあります。後述する方法を使ってiPadで表示して確認し、テキストオブジェクトやフィールドを大きめにするなどの調整をして仕上げましょう。

レイアウト作成の基本を修得したい方は、以下のガイドブックで詳しく解説していますので、そちらをご覧ください。

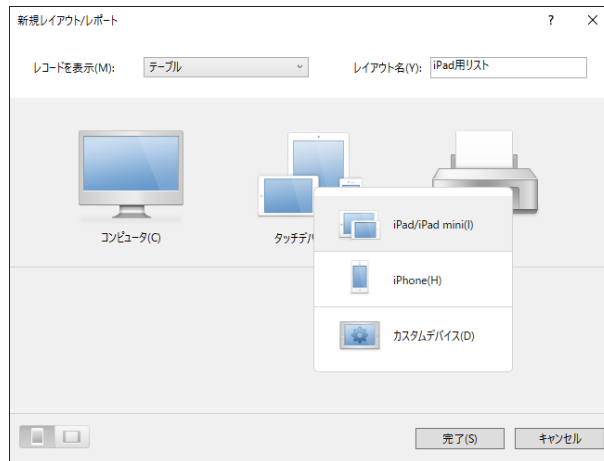
「Step 1 基本のきほん “はじめの一步” 紙にペンで描くような感覚で作成。書類を手軽にデータベース化」

「Step 2 基本のきほん “きれいなレイアウトを作成” 位置や寸法をぴったりそろえて、見栄えのいいレイアウトをつくるコツ」

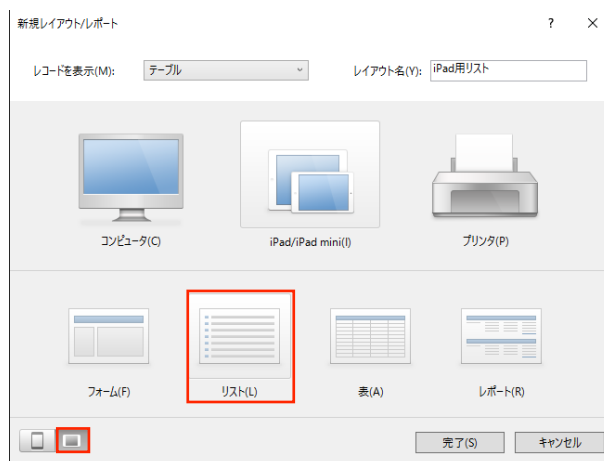
「Step 3 基本のきほん “手軽にカスタマイズ” 便利な機能を加えて、自分専用のツールにする上手な方法」

iPad用のリストレイアウトを作る

iPadでリスト表示をするためのレイアウトも作りましょう。フォームレイアウトを作ったときと同様に、レイアウトモードで“新規レイアウト/レポート”をクリックします。ダイアログボックスが開いたら、“レイアウト名”に“iPad用リスト”と入力します。“タッチデバイス”をクリックし、メニューが表示されたら“iPad/iPad mini”をクリックして選択します。

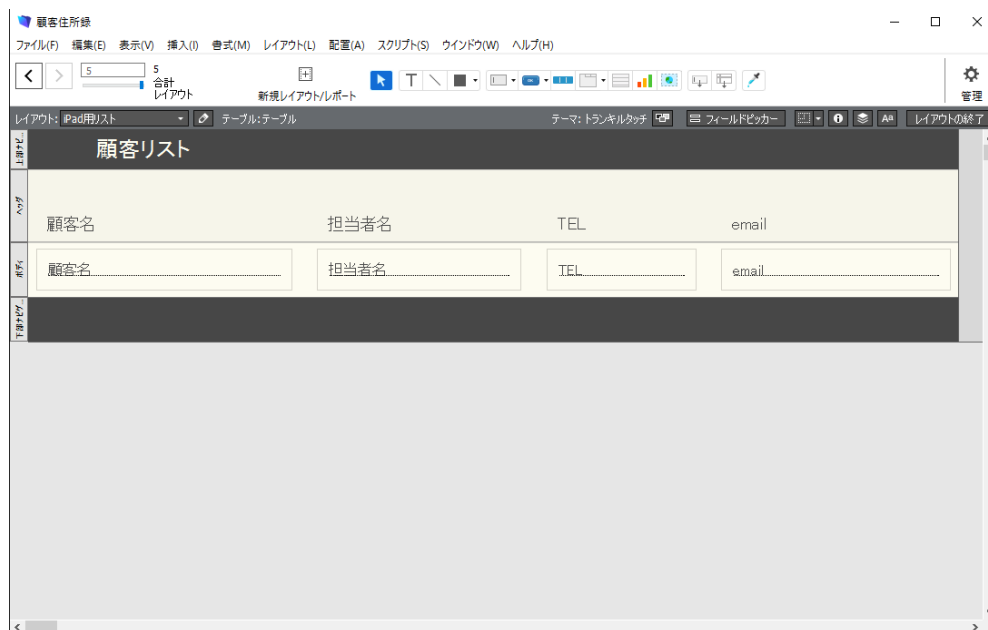


“リスト”をクリックします。これもiPadを横向きに持って使うレイアウトにしたいので、横向きのボタンをクリックして選択します。“完了”ボタンをクリックします。



FileMaker Proで作成したファイルをiPadやiPhoneで活用する方法

リストに表示したいフィールドを“フィールドピッカー”からドラッグ&ドロップし、レイアウトを整えます。

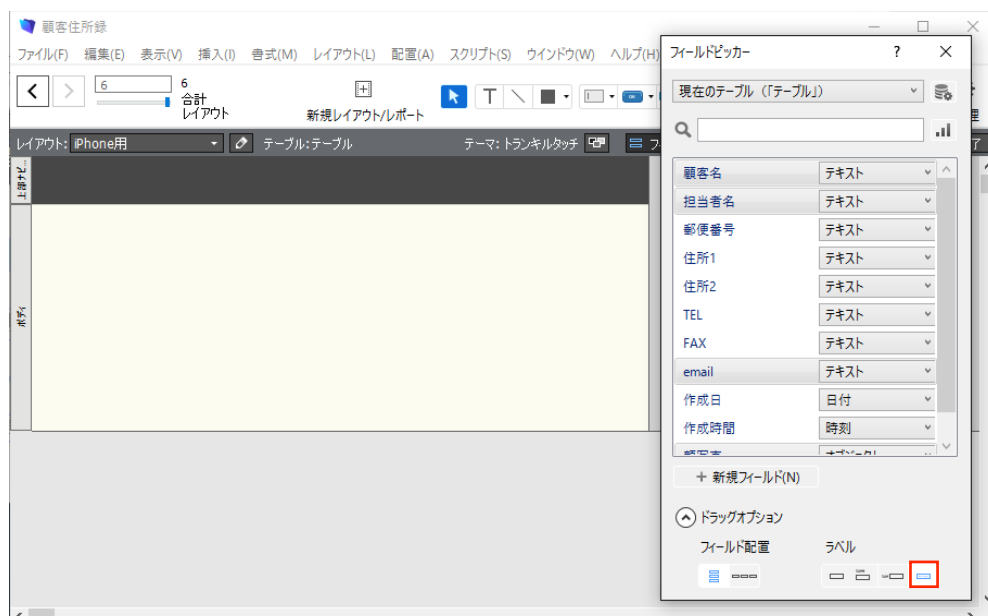


iPhone用のレイアウトを作る

iPhoneでこのデータベースを使うためのレイアウトも、iPad用と同じ手順で作ることができます。

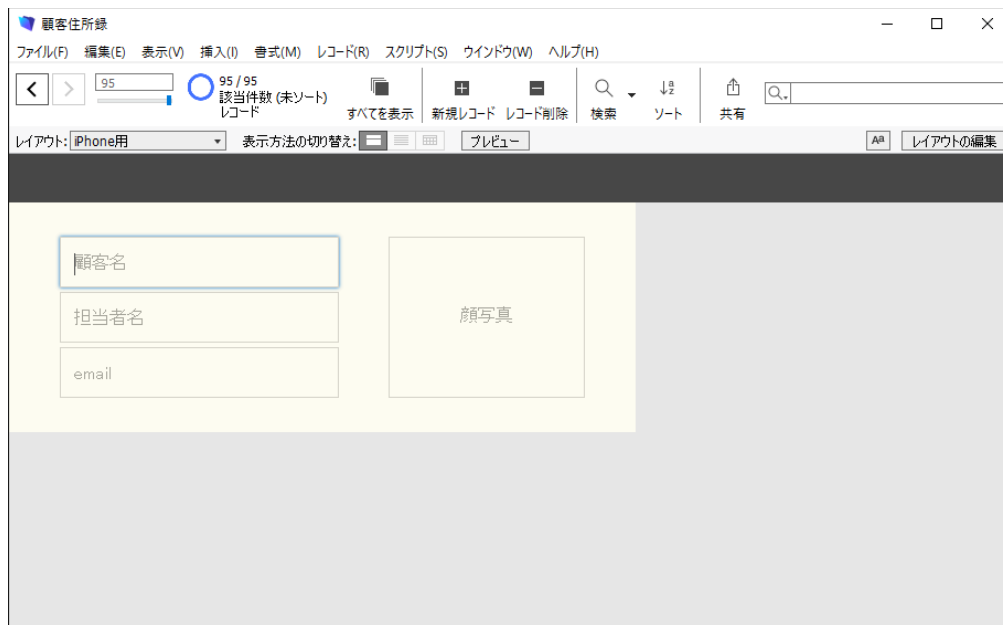
iPhoneはiPadよりも画面が狭いため、フィールドドラベルは配置せず、フィールドだけを配置したほうが使いやすいことがあります。しかしフィールドドラベルがないと、ブラウザモードで見たときにどのフィールドに何のデータを入力していいかわかりません。このような場合、空のフィールド内にプレースホルダテキストを表示させることができます。

“フィールドピッカー”でプレースホルダテキストのボタンをクリックして選択してから、フィールドをレイアウトにドラッグ&ドロップします。



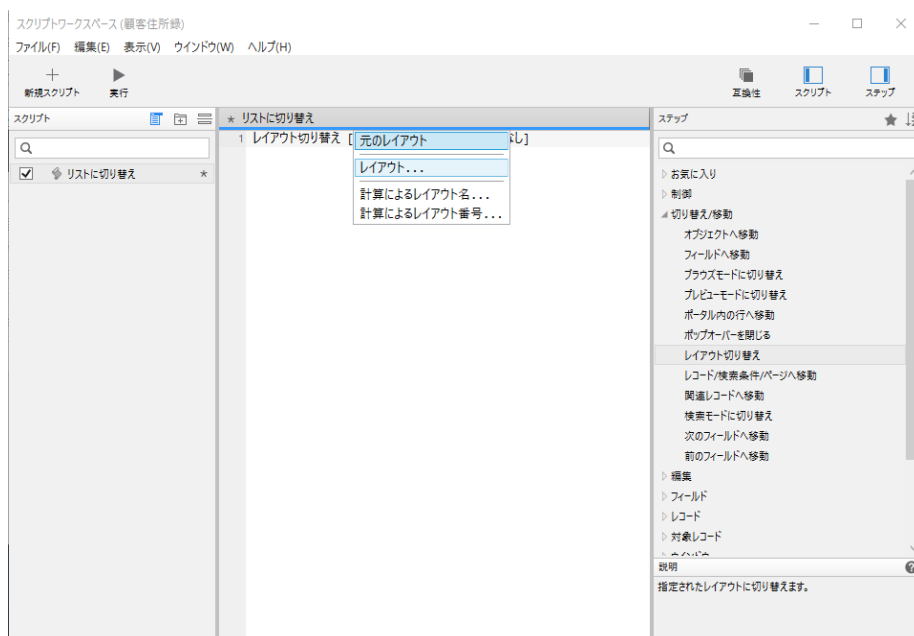
FileMaker Proで作成したファイルをiPadやiPhoneで活用する方法

このようにして作ったレイアウトを使ってブラウズモードで表示すると、フィールドにデータが入っていないときにフィールド名がプレースホルダテキストとして表示されます。下の図はコンピュータの画面ですが、iPhoneで表示した場合も同様です。

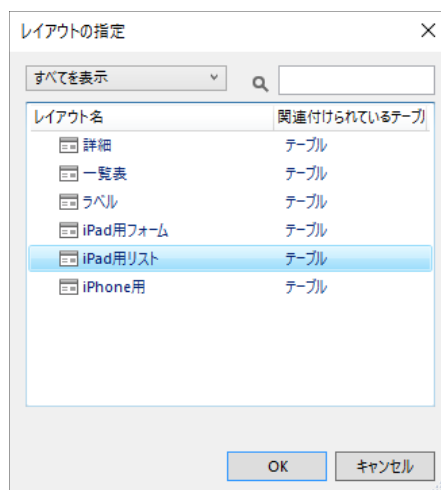


アニメーション効果をつけてレイアウトを切り替える

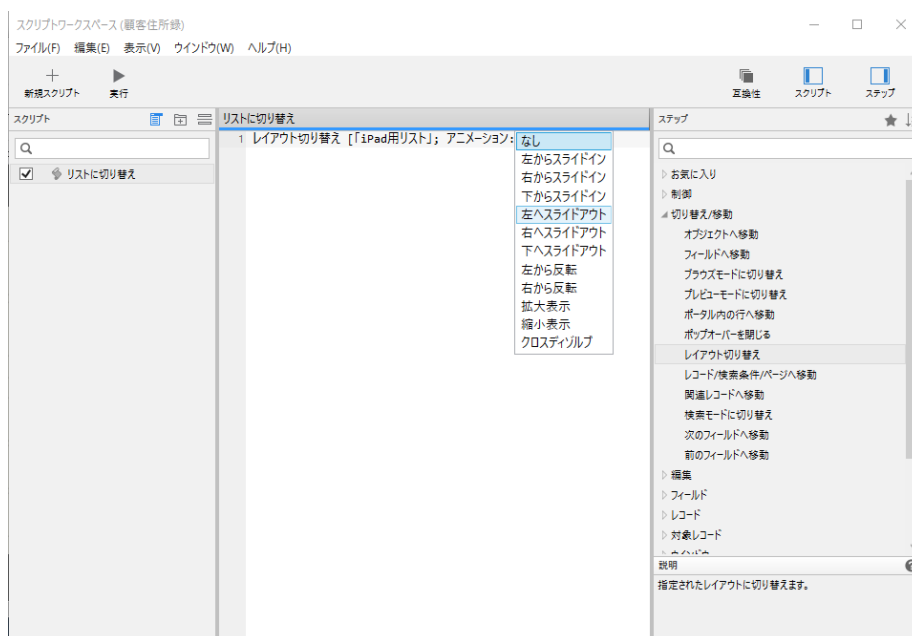
iPadでフォームとリストを切り替える際にアニメーション効果がつくようにしましょう。レイアウトが切り替わったことが直感的にわかり、使いやすくなります。そのためのスクリプトを作ります。“スクリプトワークスペース”を開き、新規スクリプトを作って、スクリプト名を“リストに切り替え”と入力します。右側のリストから“レイアウト切り替え”をダブルクリックすると、“レイアウト切り替え”のスクリプトステップが中央の欄に入力されます。入力されたスクリプトステップの“元のレイアウト”をクリックして、“レイアウト...”を選択します。



“レイアウトの指定”ダイアログボックスが開きます。切り替え先のレイアウトとして“iPad用リスト”をクリックして選択し、“OK”ボタンをクリックします。

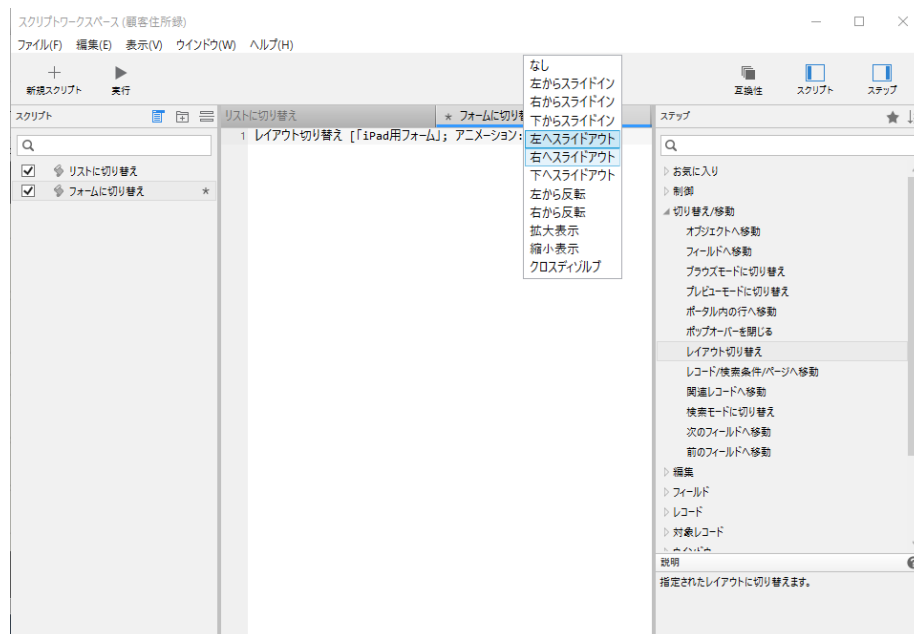


アニメーションの“なし”と書かれた部分をクリックし、“左へスライドアウト”を選択します。この後、このスクリプトを保存します。



FileMaker Proで作成したファイルをiPadやiPhoneで活用する方法

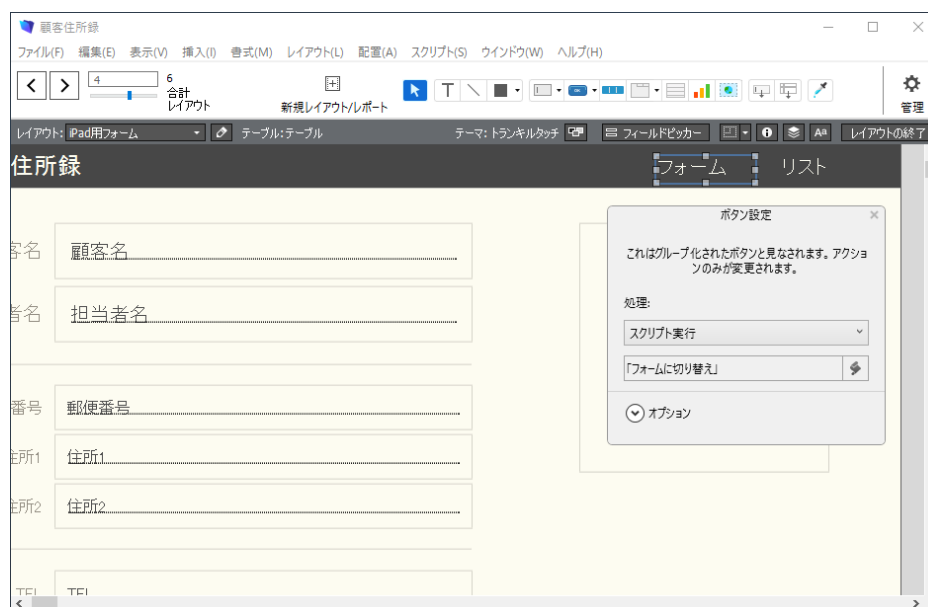
“リストに切り替え”スクリプトを複製して“フォームに切り替え”スクリプトを作ります。切り替え先のレイアウトは“iPad用フォーム”、アニメーションは“右ヘスライドアウト”にします。このスクリプトを保存したら、“スクリプトワークスペース”は閉じてかまいません。



レイアウトを切り替えるスクリプトの基本は、「誰もが読める電子書類をかんたんに作成でき、情報の共有・活用がさらに広がる」のガイドブックで解説しています。ご参照ください。

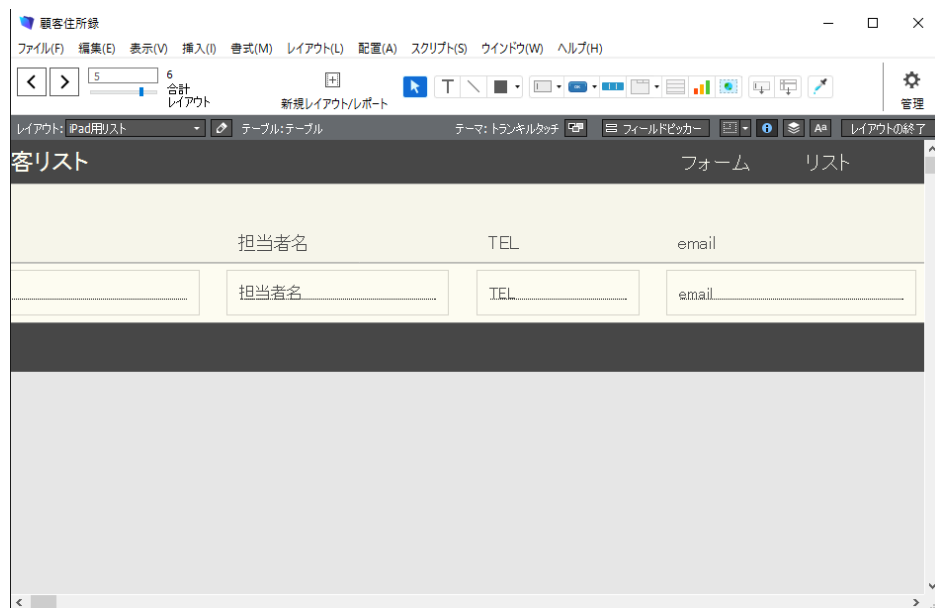
スクリプトを実行するボタンを作る

いま作った2つのスクリプトを実行するためのボタンを作りましょう。ヘッダに“フォーム”と“リスト”の2つのテキストオブジェクトを作り、オブジェクトを1つずつ選択して、“書式”メニューの“ボタン設定”を選択します。“ボタン設定”ダイアログボックスが開いたら、スクリプトを実行する設定にします。



FileMaker Proで作成したファイルをiPadやiPhoneで活用する方法

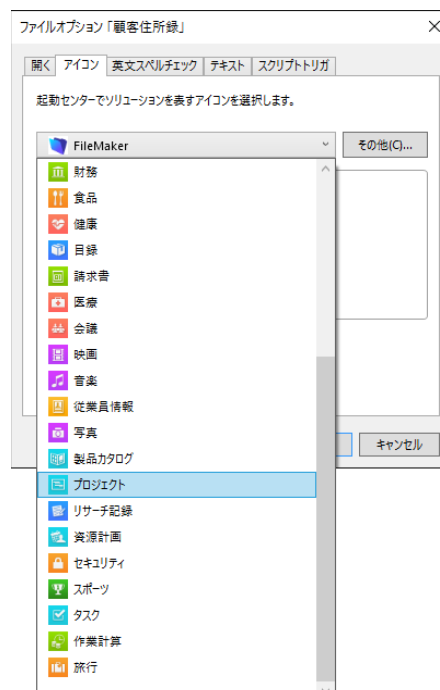
“iPad用フォーム”レイアウト上に2つのボタンを作ったら、ボタンをコピーし、“iPad用リスト”レイアウトに貼り付けます。これで、どちらのレイアウトからもボタンをタップしてレイアウトを切り替えられます。



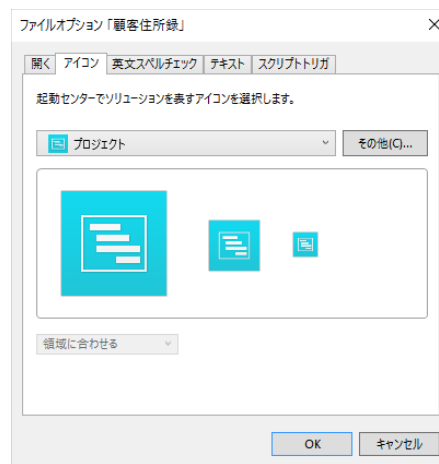
ボタンでスクリプトを実行する設定は「Step 3 基本のきほん“手軽にカスタマイズ” 便利な機能を加えて、自分専用のツールにする上手な方法」の32ページ「未完一覧を表示するボタンを作る」で詳しく解説しています。ご参照ください。

ファイルにカスタム Appのアイコンを設定する

“起動センター”からファイルを開くときにわかりやすいように、アイコンを設定しておきましょう。“ファイル”メニューから“ファイルオプション...”を選択します。“ファイルオプション”のダイアログボックスが開いたら、“アイコン”タブをクリックします。ポップアップメニューからこのファイルに最適な項目を選択します。ここでは“プロジェクト”を選択します。選択したら“OK”ボタンをクリックします。



選択したアイコンを確認し、“OK”ボタンをクリックします。このファイルをコンピュータで開くときもiPadやiPhoneで開くときも、“起動センター”にこのアイコンが表示されます。



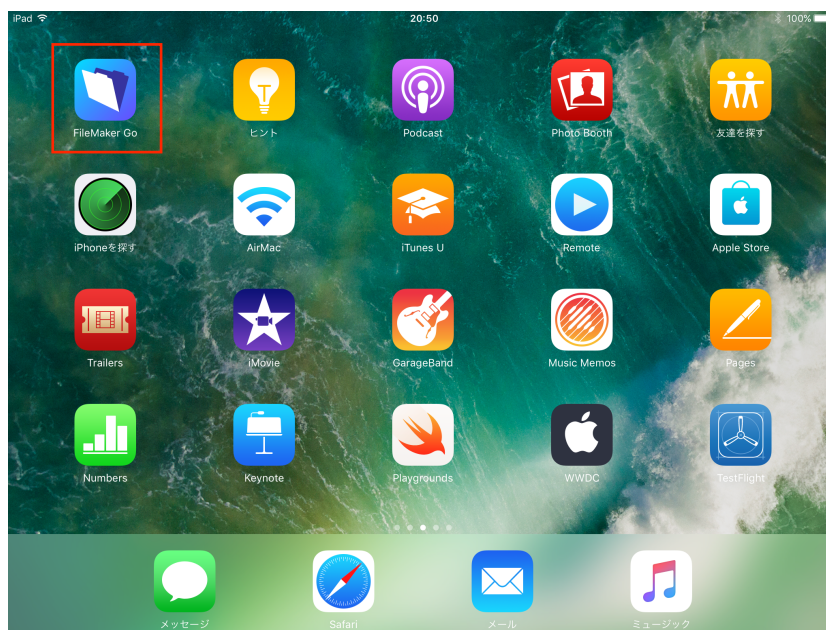
FileMaker Proで作成したファイルをiPadやiPhoneで活用する方法

iPadでFileMaker Goを使えるようにする

iPadのApp StoreでFileMaker Go 16をインストールします。コンピュータのiTunesでダウンロードし、iPadと同期することもできます。

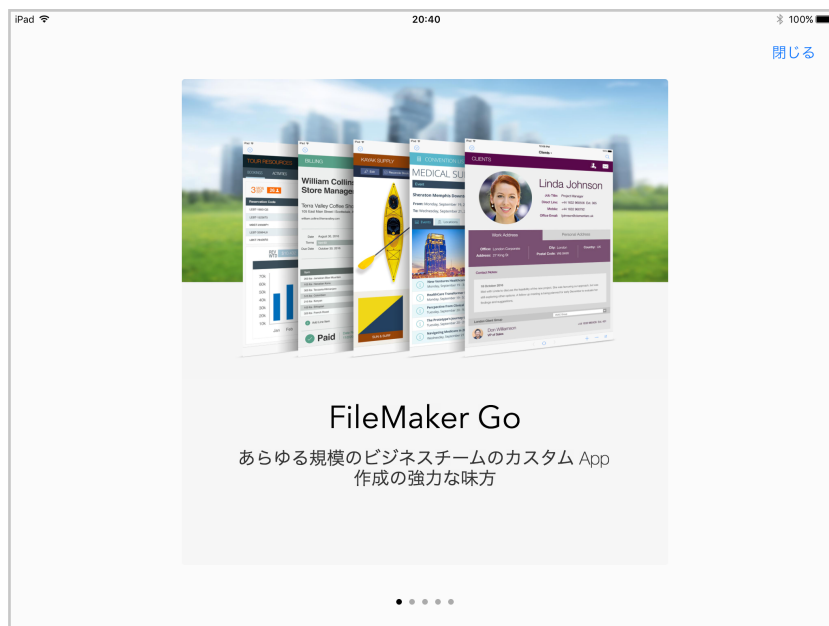


インストールしたらホーム画面でFileMaker Go 16のアイコンをタップして起動します。



FileMaker Proで作成したファイルをiPadやiPhoneで活用する方法

はじめて起動したときに、自動で入門ツアーが始まります。文章を読み、左へスワイプしながら進めていきます。

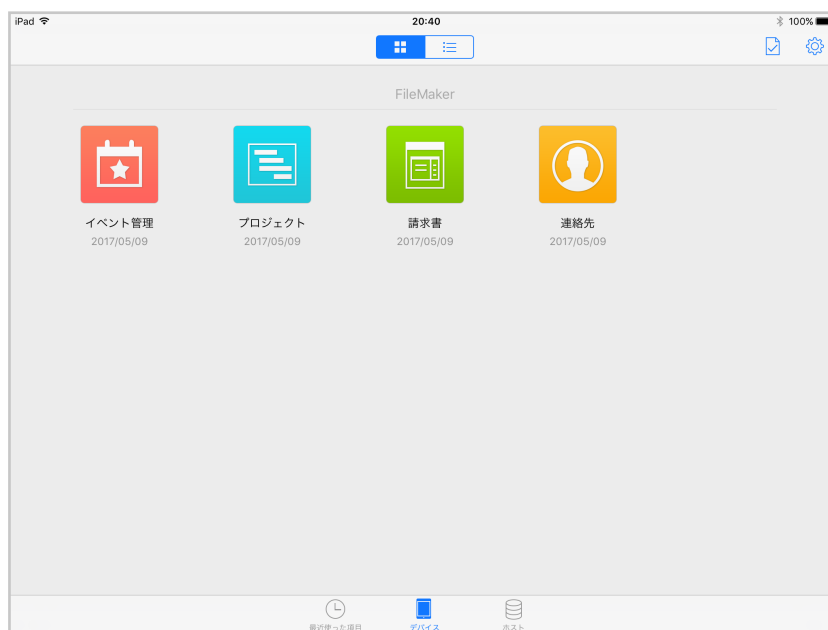


入門ツアーの最後のページまで進んだら、“開始”をタップします。

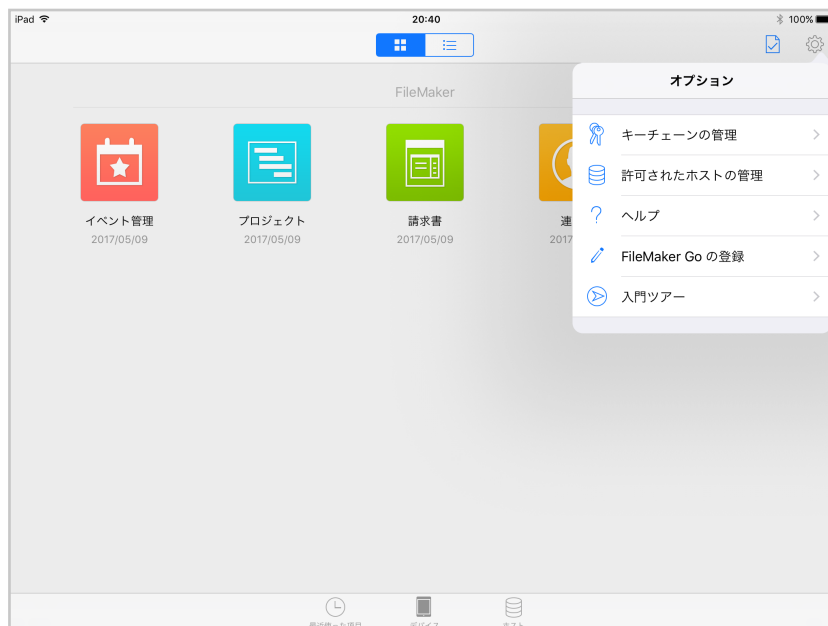


FileMaker Proで作成したファイルをiPadやiPhoneで活用する方法

“起動センター”の画面になり、サンプルファイルのアイコンが表示されています。これから自分の作ったファイルもここに表示して使います。



入門ツアーをもう一度見るには、オプションのアイコンをタップし、“入門ツアー”をタップします。



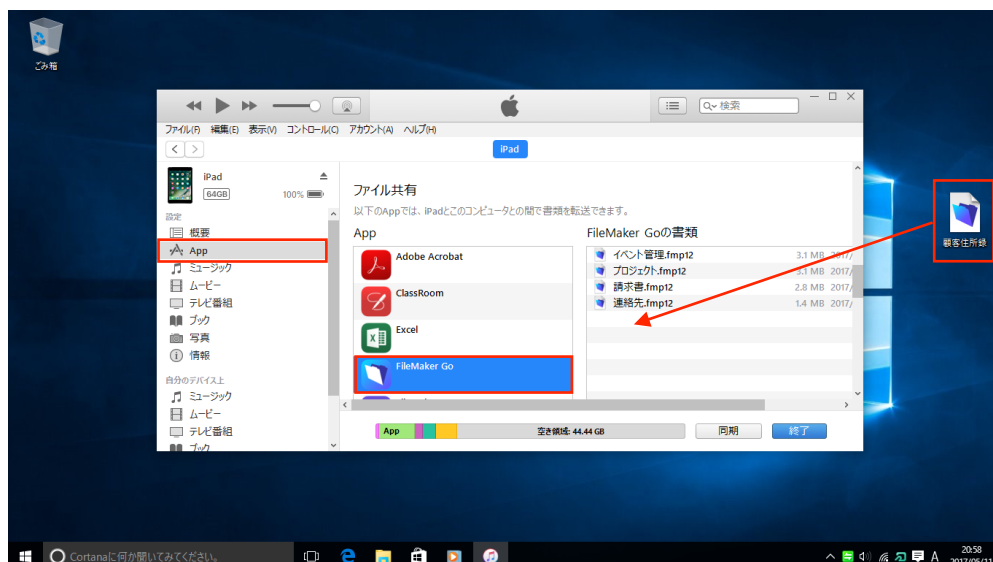
データベースファイルをiPadで開く方法（1） - ファイルをiPadにコピーする

データベースファイルをiPadで開くには、2つの方法があります。ファイルをiPadにコピーする方法と、コンピュータ上で開いているファイルにiPadからネットワーク経由でアクセスする方法です。

まず、ファイルをiPadにコピーする方法から解説します。ファイルをコピーするには、コンピュータのiTunesを使います。Windowsパソコンには、iTunesがインストールされていないことがあります。インストールされていない場合は、Apple社のWebサイト（<http://www.apple.com/jp/itunes/>）からダウンロードしてインストールします。Macは購入時にiTunesがインストールされています。Appleメニューから“App Store...”を選択し、iTunesの最新のアップデートがあれば適用しましょう。



iPadとコンピュータをケーブルで接続し、コンピュータでiTunesを起動します。左上にiPadのアイコンが表示されたらクリックします。するとiPadの項目が表示されるので、“App”をクリックします。右側の領域を下の方へスクロールし、“ファイル共有”のアプリケーションのリストで“FileMaker Go”をクリックします。コンピュータに保存されているFileMaker Proのファイルのアイコンを、書類の領域へドラッグ&ドロップします。これでファイルがiPadにコピーされます。

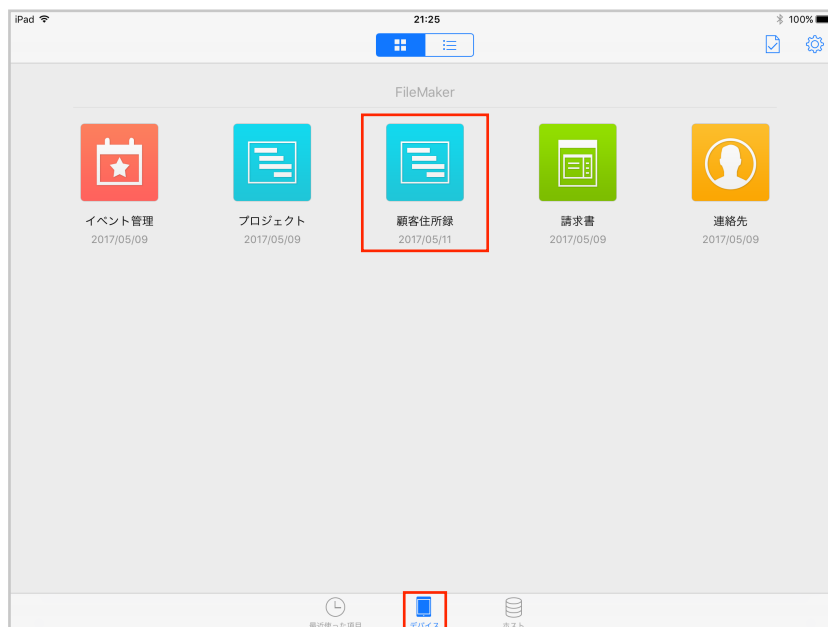


FileMaker Proで作成したファイルをiPadやiPhoneで活用する方法

コピーが完了したら、取り出しのボタンをクリックしてからiPadのケーブルを外します。

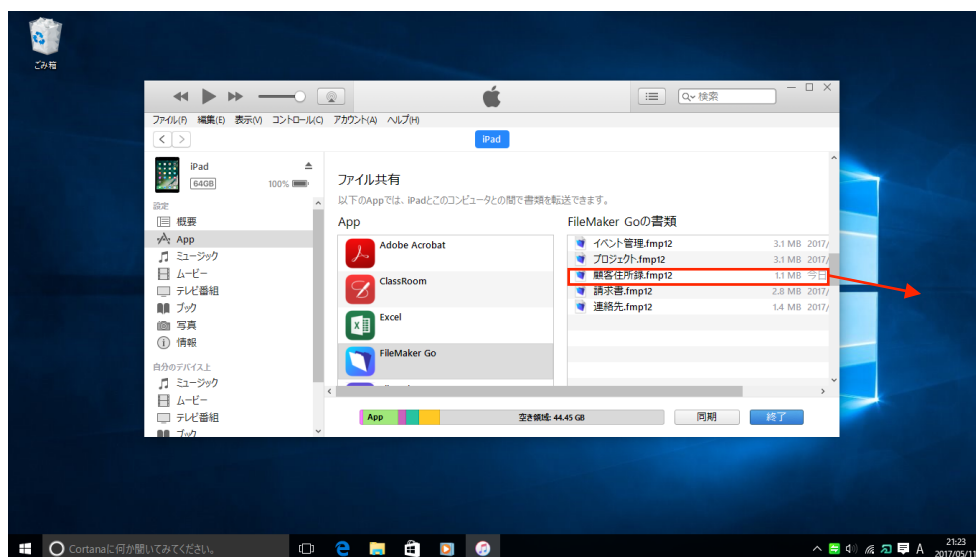


iPadのFileMaker Goで、“起動センター”の“デバイス”をタップするとコピーしたファイルが、設定したカスタム Appのアイコンで表示されます。これをタップして開きます。FileMaker Goの操作は後述します。



FileMaker Proで作成したファイルをiPadやiPhoneで活用する方法

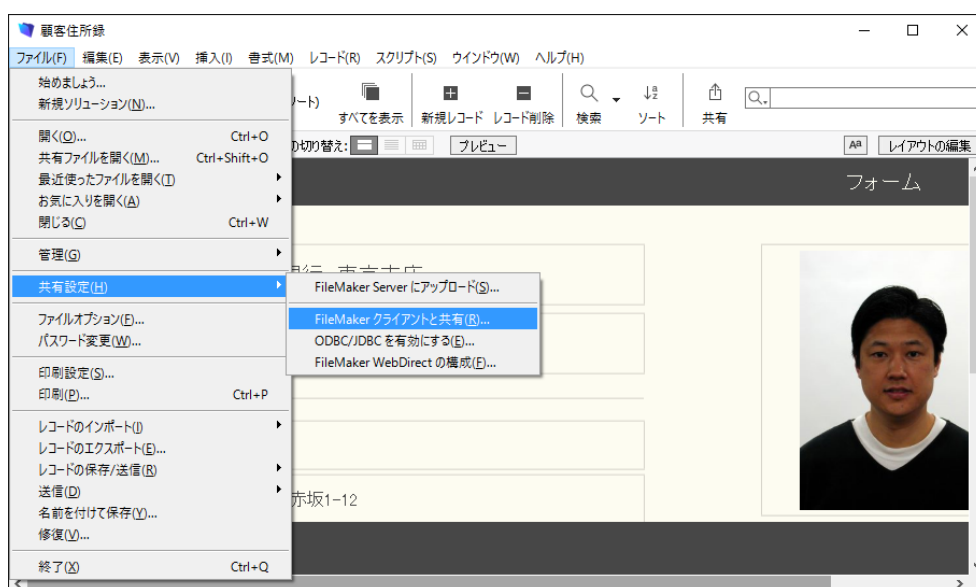
この方法では、コンピュータ上のファイルとiPad上のファイルは別のもので、iPadで変更したファイルをコンピュータにコピーするには、先ほどと同じようにiTunesの“App”で“FileMaker Go”を選択し、ファイルをコンピュータのデスクトップやウィンドウにドラッグ&ドロップします。



データベースファイルをiPadで開く方法（2） - ネットワーク経由で開く

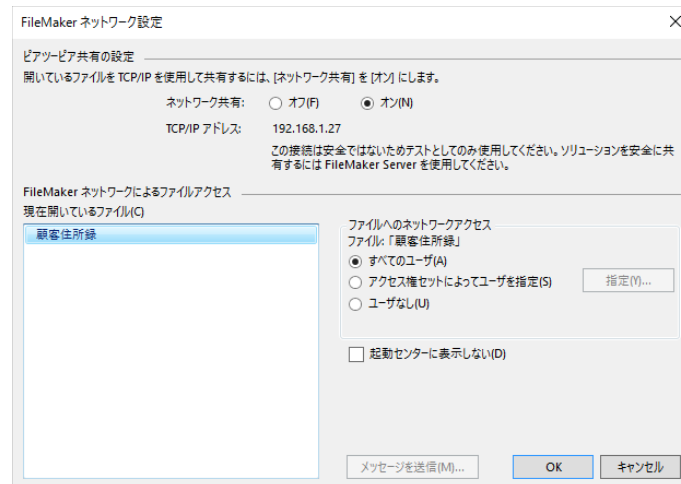
このガイドブックでは、コンピュータ上のFileMaker Proを使ってLANで共有する方法を紹介します。FileMaker Serverを使ったり、インターネット経由で共有したりすることもできます。

FileMaker Proでファイルを開きます。“ファイル”メニューの“共有設定”から“FileMakerクライアントと共有...”を選択します。

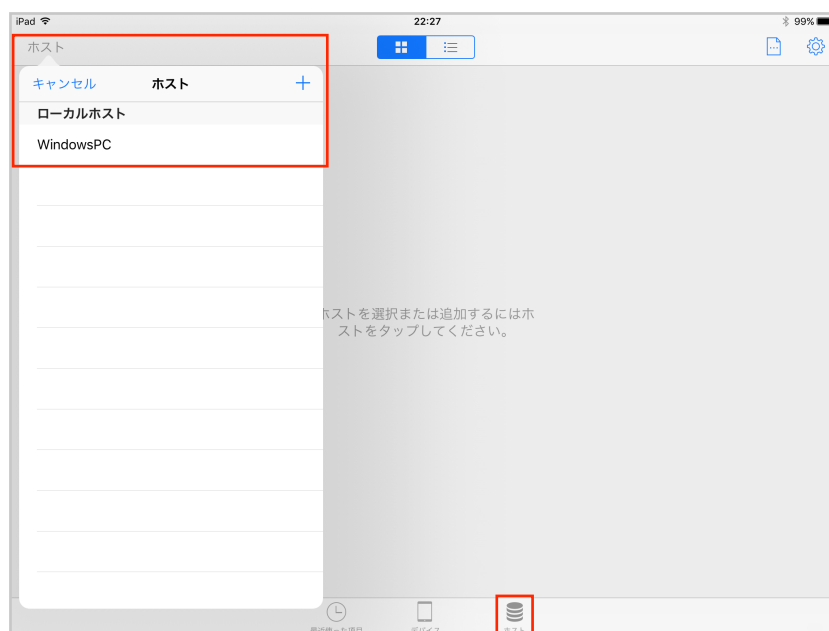


FileMaker Proで作成したファイルをiPadやiPhoneで活用する方法

ネットワーク共有を“オン”にします。“顧客住所録”が選択されていることを確認し、ファイルへのネットワークアクセスを“すべてのユーザ”にします。“OK”ボタンをクリックします。これで、ネットワーク共有が開始されます。

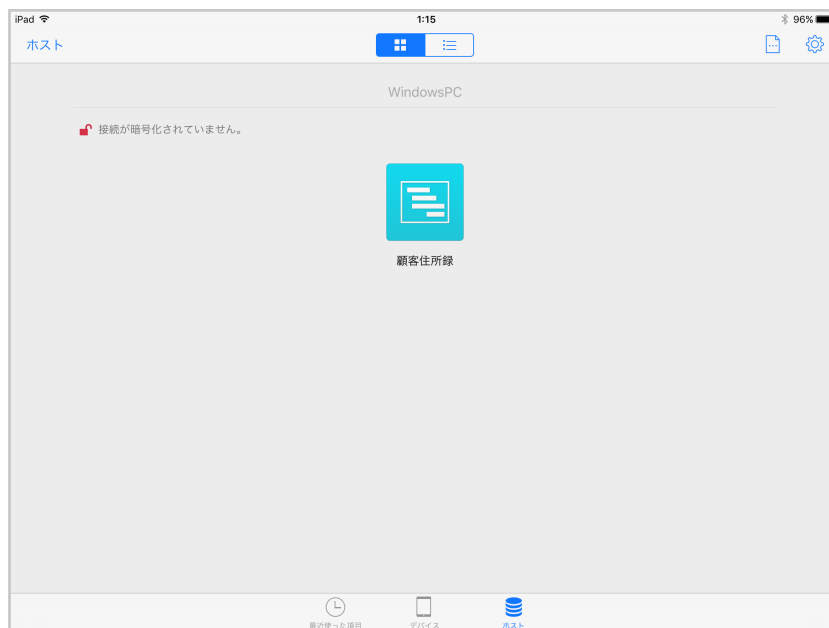


iPadのFileMaker Goの“起動センター”で、下部の“ホスト”をタップし、左上の“ホスト”をタップします。メニューにネットワーク共有を有効にしたコンピュータの名前が表示されたらタップします。ネットワーク環境の設定などの理由でコンピュータの名前が自動で表示されない場合は、“+”をタップし、次の画面でネットワーク共有を有効にしたコンピュータのアドレスを入力して接続します。この後、セキュリティ警告が表示されますが、ここでは“接続”をタップします。



FileMaker Proで作成したファイルをiPadやiPhoneで活用する方法

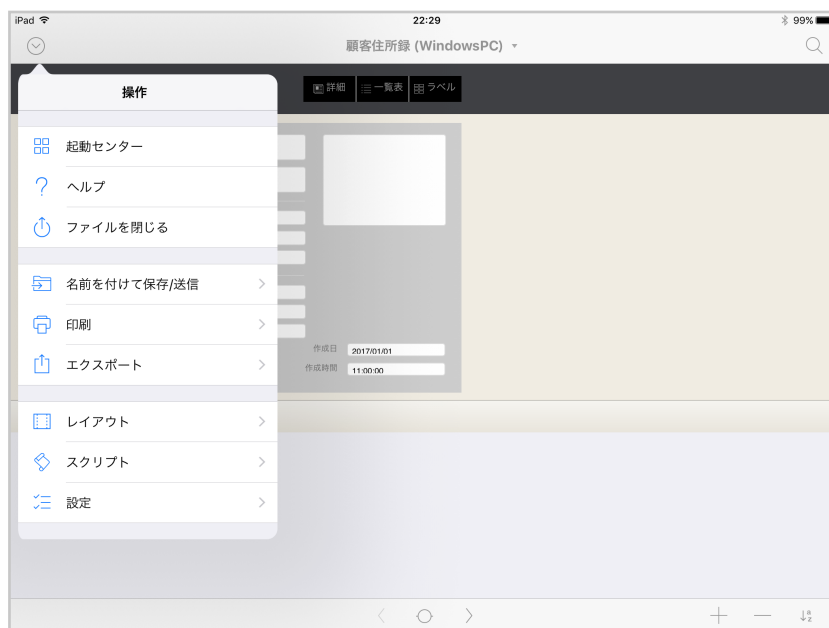
共有されているファイルが表示されます。タップして開きます。



この方法では、iPadで入力したり編集したりしたデータは、コンピュータ上のファイルに保存されます。

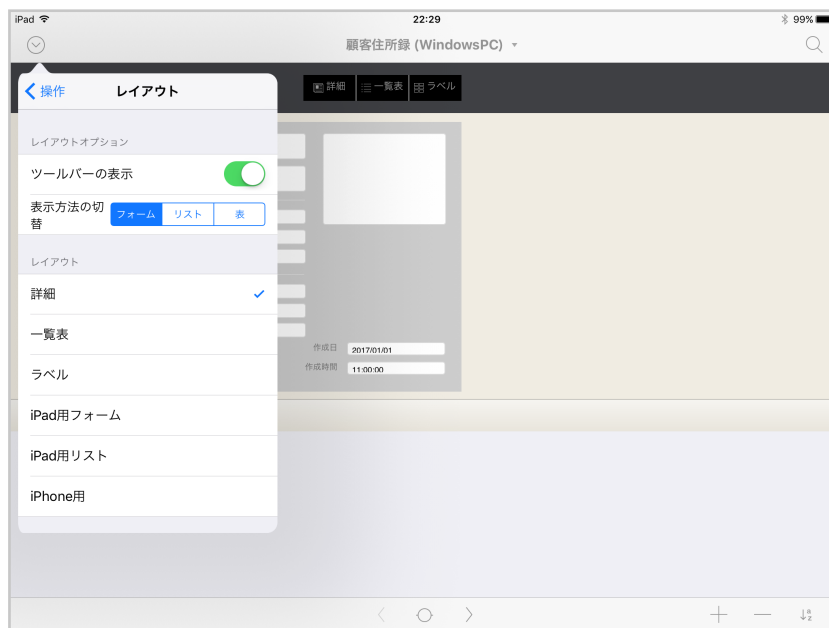
iPadでレコードのブラウズ、編集、追加、削除をする

iPadで開いたときにiPad用のレイアウトになっていなければ、レイアウトを切り替えましょう。左上のアイコンをタップし、“レイアウト”をタップします。



FileMaker Proで作成したファイルをiPadやiPhoneで活用する方法

“iPad用フォーム”をタップして選択します。



別のレコードへ移動するには、“<”や“>”をタップします。または丸いアイコンをタップしてメニューを表示し、スライダをドラッグします。レコードを2本の指で左右にスワイプして移動することもできます。



FileMaker Proで作成したファイルをiPadやiPhoneで活用する方法

データを編集するには、編集したいフィールドをタップします。キーボードが表示され、編集できる状態になります。編集が終わったら、フィールドの外をタップするか、キーボードの右下のボタンをタップすると、キーボードが隠れます。



新規レコードを追加するには、“+”をタップし、“レコードを追加”をタップします。



FileMaker Proで作成したファイルをiPadやiPhoneで活用する方法

新規レコードが作られます。フィールドにデータを入力します。



顔写真を入れるには、フィールドをタップします。この場で撮影するときは、“カメラ”をタップします。するとiPadのカメラで写真を撮影して、このフィールドに保存できます。iPadにすでに保存されている写真を使うには、“写真”をタップします。すると写真アプリケーションの項目が表示されるので、フィールドに入りたい写真を選択します。



レコードを削除するには、“－”をタップし、“レコード削除”をタップします。この後、完全に削除するかどうか確認のメッセージが表示されたら“はい”をタップします。



ボタンの動作とアニメーション効果を確認める

ヘッダに作った“フォーム”と“リスト”の2つのボタンをそれぞれタップして動作を確認めましょう。フォームとリストが左右に動いて切り替わるようなアニメーション効果がついています。



iPadでレコードを検索する

検索には2つの方法があります。まず、すべてのフィールドを対象として検索するには、右上のアイコンをタップして、“クイック検索”をタップします。



検索したい語句を入力し、キーボードの“検索”をタップします。

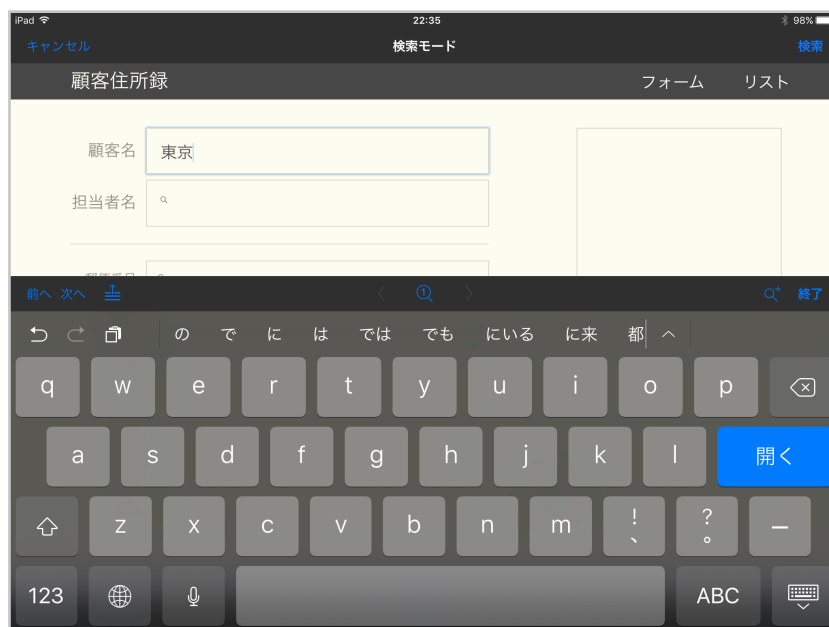


FileMaker Proで作成したファイルをiPadやiPhoneで活用する方法

もうひとつの方法として、特定のフィールドに対して検索したいときは、右上のアイコンをタップして、“新規検索を作成”をタップします。



検索モードの画面に切り替わります。検索したいフィールドをタップし、語句を入力します。キーボードの“開く”をタップします。



FileMaker Proで作成したファイルをiPadやiPhoneで活用する方法

丸いアイコンをタップすると、スライダの上に検索された対象レコードの件数が表示されています。検索されたレコードだけをブラウズできます。



検索を解除してすべてのレコードをブラウズできる状態に戻すには、丸いアイコンをタップして、“すべてを表示”をタップします。



iPadでレコードをソートする

レコードをソートするには、右下のアイコンをタップして、“フィールドを選択”をタップします。



ソートの条件にしたいフィールドをタップして選択します。複数選択することもできます。選択したら“<戻る”をタップします。



FileMaker Proで作成したファイルをiPadやiPhoneで活用する方法

ソートの優先順位は、フィールド名の右端のアイコンを上下にドラッグして変更できます。条件を設定したら“ソート”をタップします。



丸いアイコンをタップすると、ソート済みであることが表示されます。



ソートを解除するには、右下のアイコンをタップして、“ソート解除”をタップします。



「FileMaker Proで作成したファイルをiPadやiPhoneで活用する方法」はこれで終了です。これを修得すればiPadやiPhoneでもFileMakerのデータベースファイルを使うことができ、いつでもどこでも、指先でデータを活用できます。

次のステップ

「初めてでも簡単 つくる楽しさ FileMaker」を終了した方には、ファイルメーカー社Webサイトの「カスタム Appのリソース」がオススメです。ビジネスにカスタム Appを導入するために役立つ無料のeBookやツールを公開しています。ぜひご覧ください。

「カスタム Appのリソース」

<http://www.filemaker.com/jp/custom-apps/resources/>



FileMaker.
An Apple Subsidiary

www.filemaker.com/jp